



岩上 力の『京都のための京都』

【第1回】 葉月の京都、八朔・お盆・おもてなし

主催 京都商工会議所

近年語られる「おもてなし」という言葉の殆どが商業的なサービスの一環であり、暮らしの中に存在するものとは異なります。おもてなしの最も大切なことは相手を思う気持ちなのです。

京都で「おもてなしの文化」が発展したのは、都であるがゆえに大勢の人々が集まり、町を形成して、京都びとがお人とのふれ合いを何よりも大切にしてきたことや、神佛を敬い、年中行事を大切に作る気質感性があったからではないでしょうか。

葉月の行事である「八朔」は、お人への感謝の心がベースにあり、「お金」には、ご先祖様をお迎えするために早くから佛壇や佛具を磨き、お迎えのその日から決められた献立を心をこめてお供えます。そして、おもてなしの締めくくりである「お見送り」が五山の送り火なのです。辞去に際して、「また訪れたい」「またのご訪問を心待ちにしています」という訪問者ともてなす側との気持ちが京都びとの心であり、大切にしてきた心得ごとが存在するのです。

本講座は、京都検定に合格された方・合格を目指す方のみならず、京都を愛し学びたい方を対象に、暮らしに息づく京の感性と文化を体得していただく内容となっております。

◆ 日時 ◆ 平成29年 7月30日 (日) 13:30~16:30

(講義途中に休憩があります)

◆ 会場 ◆ 京都商工会議所 (地下鉄烏丸線 丸太町駅南側6番出口すぐ)

※駐輪場はありませんので、公共交通機関でお越しください。

◆ 受講料 ◆ 3,000円 (レジュメ含む)

◆ 講師 ◆ 岩上 力氏 (儀式作法研究会 代表・京都検定 講師)

1947年京都・宇治に生まれる。舞台芸術学院を経て劇団「新国劇」に入団。その新国劇時代から礼法の研究に勤しむ。1983年儀式作法研究会を設立。爾来、各方面にて儀式作法教室の講師をつとめるとともに、作法コメンテーターとしてテレビ・ラジオに出演する。現在、NHK文化センター京都教室・京都新聞文化センター・東映俳優養成所の講師を務める。

主な著書「京の儀式作法入門」「京のあたりまえ」「京の儀式作法書」「京の宝づくし縁起物」「なぜ『招き猫』はネコでなくてはならないのか?」「わが人生廻り舞台」等多数。



今後の開催予定

【第2回】平成29年11月26日 (日) 13:30~16:30

師走の京都、事始めから学び知る感謝の心

【第3回】平成30年 3月 4日 (日) 13:30~16:30

弥生の京都、「いやさか」を祈る京都の感性

※内容は変更になる可能性があります。



岩上 力 の『京都のための京都』

【第2回】師走の京都、事始めから学び知る感謝の心

主催 京都商工会議所

京のひとつとは、顔見世のまねきの看板が上がると師走を感じると言われています。そして、京都では十二月十三日を「事始め」と言って、この日からお正月の準備を始め、お歳暮もこの日から贈り始められる方もあります。

十二月二十日は、果ての二十日。二十一日頃には冬至を迎え、柚子湯に入ったり、「ん」の字が二文字つく食品を七種食したりします。この日から畳の目、ひと目ずつ、徐々に昼間の時間が長くなると言われています。

三十一日には、“大祓え”という儀礼で心身を清め、除夜の鐘の音を聞きながら一年をふり振り返り自己を反省すると共に人々に感謝して、新しい年を迎えるのが師走月の大切な作法です。

祇園さんでいただく“きけら火”は、明日への希望の御(み)明(あか)りでもあるのです。このたびは、師走の京都から京都びとの気質感性を感じていただければ幸いです。

本講座は、京都検定に合格された方・合格を目指す方のみならず、京都を愛し学びたい方を対象に、暮らしに息づく京の感性と文化を体得していただく内容となっております。

◆ 日 時 ◆ 平成29年 11月26日 (日) 13:30~16:30
(講義途中に休憩があります)

◆ 会 場 ◆ 京都商工会議所 (地下鉄烏丸線 丸太町駅南側6番出口すぐ)
※駐輪場はありませんので、公共交通機関でお越しください。

◆ 受講料 ◆ 3,000円 (レジュメ含む)

◆ 講 師 ◆ 岩上 力 氏 (儀式作法研究会 代表・京都検定 講師)

1947年京都・宇治に生まれる。舞台芸術学院を経て劇団「新国劇」に入団。その新国劇時代から礼法の研究に勤しむ。1983年儀式作法研究会を設立。爾来、各方面にて儀式作法教室の講師をつとめるとともに、作法コメンテーターとしてテレビ・ラジオに出演する。現在、NHK文化センター京都教室・京都新聞文化センター・東映俳優養成所の講師を務める。

主な著書「京の儀式作法入門」「京のあたりまえ」「京の儀式作法書」「京の宝づくし縁起物」「なぜ『招き猫』はネコでなくてはならないのか?」「わが人生廻り舞台」等多数。



今後の開催予定

【第3回】平成30年 3月 4日 (日) 13:30~16:30

弥生の京都、「いやさか」を祈る京都の感性

※内容は変更になる可能性があります。



岩上 力 の『京都のための京都』

【第3回】

弥生の京都、「いやさか」を祈る京都の感性

主催 京都商工会議所

桜の開花と共に「はんなり」とした春がやってきます。「はんなり」とは、花あり花なしから変化した言葉ですが、ただ華やか艶やかというだけではなく、そこには雅(みやび)さと上品さとが必ず内在しているのです。

その「はんなり」という言葉にふさわしい「花街の春のをどり」を告げるポスターや提灯から春の訪れを感じる方も少なくありません。

自然界に目を移せば、野山の桜が人の心を和ませ、人は花の下に集い、酒を酌み交わし花見の宴を催します。老若男女の別なく人々は春を享受し、花を愛でることで桜の花に宿る神の力で新たな活力を頂戴するというのが、花見本来の意味です。

京の春から、無病息災・家内安全で暮らせることが何よりも大切だと考えてきた京都人の感性が、はっきりと見えてきます。

本講座は、京都検定に合格された方・合格を目指す方のみならず、京都を愛し学びたい方を対象に、暮らしに息づく京の感性と文化を体得していただく内容となっております。

◆ 日 時 ◆ 平成30年 3月 4日 (日) 13:30~16:30

(講義途中に休憩があります)

◆ 会 場 ◆ 京都商工会議所 (地下鉄烏丸線 丸太町駅南側6番出口すぐ)

※駐輪場はありませんので、公共交通機関でお越しください。

◆ 受講料 ◆ 3,000円 (レジュメ含む)

◆ 講 師 ◆ 岩上 力 氏 (儀式作法研究会 代表・京都検定 講師)

1947年京都・宇治に生まれる。舞台芸術学院を経て劇団「新国劇」に入団。その新国劇時代から礼法の研究に勤しむ。1983年儀式作法研究会を設立。爾来、各方面にて儀式作法教室の講師をつとめるとともに、作法コメンテーターとしてテレビ・ラジオに出演する。現在、NHK文化センター京都教室・京都新聞文化センター・東映俳優養成所の講師を務める。

主な著書「京の儀式作法入門」「京のあたりまえ」「京の儀式作法書」「京の宝づくし縁起物」「なぜ『招き猫』はネコでなくてはならないのか?」「わが人生廻り舞台」等多数。

